



惑星空間放射線環境モニタ(IREM)

MMX搭載用惑星空間放射線環境モニタ(IREM)納入

3月22日、火星衛星探査計画(MMX※1)探査機に搭載される惑星空間放射線環境モニタ(IREM※2)のフライトモデルを宇宙航空研究開発機構(JAXA)へ納入しました。

IREMは、JAXAの研究開発部門第一研究ユニットの研究チームと共同で開発した装置で、地球から火星までの往復中に、①太陽フレア(太陽における爆発現象)粒子、②銀河宇宙線(太陽系外を起源とする荷電粒子)の粒子弁別とエネルギー計測等を行い、MMX運用時の宇宙放射線環境の計測を目的としています。また、従来の宇宙環境計測装置に比べ、計測中のノイズ除去機能や計測精度が向上しています。これにより、将来の宇宙探査での放射線被ばく線量評価の確立が期待されています。

明星電気は、宇宙環境計測の発展と探査技術の進化に貢献していきます。

※1 MMX: Martian Moons eXploration

※2 IREM: Interplanetary Radiation Environment Monitor

(担当: 宇宙防衛事業部)



当社従業員による発表の様子

2024年河川観測高度化シンポジウムでGPS浮子発表

4月6日、2024年河川観測高度化シンポジウム(主催: 土木学会 水工学委員会 河川観測高度化小委員会)が中央大学後楽園キャンパスで開催され、当社は河川流量観測の高度化・省人化に資するシステムとしてGPS浮子を発表しました。

GPS浮子は当社のラジオゾンデの通信・計測技術を応用した製品で、発表ではGPS浮子を用いることで現行の流量観測(浮子による高水観測)の省人化が図れた事例を紹介しました。参加された研究機関や企業の皆さまからはリモートセンシングによる無人の流量観測が推奨されている中で、GPS浮子の直接観測が精度補正に有効であるという期待の声も多く寄せられました。

当社はこれからも安全安心な社会の実現に向けて、河川観測の高度化に貢献します。

GPS浮子



(担当: 気象防災事業部)



アイマップ ホームページ

伊勢崎市情報ポータルサイト アイマップで紹介

当社の本社所在地である群馬県伊勢崎市の情報を発信するサイト アイマップの特集コーナー「おじゃましま〜す」に、明星電気を取り上げられました。

1月20日に成功した小型月着陸実証機(SLIM)の月面着陸、その後の探査に大きく貢献した当社機器に関する取材を受けました。SLIMIに搭載された「航法カメラ」「マルチバンド分光カメラ」「レーザーレンジファインダー」の紹介や着陸当日の関係技術者の思い、その後の様子などが紹介されています。アイマップは伊勢崎市や近隣の情報がたくさん取り上げられていますので、ぜひご覧ください。

当社掲載ページ: https://www.imap.ne.jp/news_detail/page/91/2723

明星電気はこれからも宇宙の謎の解明や社会に貢献できる製品開発を進めていきます。

(担当: 経営企画部)

【文中: 敬称略】

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により、革新的な商品・サービスを創造し、安全・安心な社会の発展に貢献していきます。